



佐竹 稔 議員

### 登山者の路上駐車対策を!!

新穂高の駐車場対策について

【問】現在稼働している有料駐車場は、何台収容できるか。

【答】平成18年度で324台であったが、新穂高溪流保全工の進捗により170台減少し現時点で154台であるが、最終的には144台になる見込みである。

【問】グラウンドデザイン構築の中で駐車場の整備は検討されているか。

【答】河川法等の法令上の制約があり、それらの課題を整理し適地を検討している。

【問】登山者専用駐車場を増設する考えはあるか。

【答】約200台の市営駐車場があるが、鍋平園地駐車場、山小屋経

営者団体の駐車場も夏山シーズンは満車になる。地区全体の駐車場規模や状況に留意しながら検討し、路上駐車対策は地域関係者と連携して登山者に働き掛けをするとともに、登山者専用駐車場の整備を検討していく。

### 地酒ツーリズムの企画について

【問】本年度のモニターツアーの進捗状況は。

【答】10月下旬からスタートする予定で、現在企画内容の最終調整を行っている。

【問】海外観光客誘致に向けた企画をしているか。

【答】東京都内でプロモーションを予定しており、海外戦略室の事業

とも連携しながらPRを拡大していく。

### 飛騨市民病院の維持体制の支援協力について

【問】飛騨市民病院は救急病院にも指定されている。上宝・奥飛騨地域にとつては中核拠点病院であるが、今年4月から常勤医師が3名体制となった。高山市としては医師招聘確保の支援協力をする考えはあるのか。

【答】上宝地域の方が年間13、610人利用されている。飛騨は「一つの心」で飛騨市と協力を密にし当病院の医師招聘確保に努力していく。



飛騨市神岡町にある飛騨市民病院



村瀬 祐治 議員

### 合併10年度の財政計画は

#### 財政計画について

【問】合併後15年間は交付税の財政支援措置を受けることができる。金額は幾らになるのか。

【答】平成24年度は約50億円である。

【問】合併財政支援措置が減額になる。今後の公共事業についての考えは。

【答】公共施設の適正規模化を進め、長寿命化対策を中心に公共施設維持するため、一定の公共事業は必要である。

#### 町内会加入率促進について

【問】町内会加入率が高山地区では63%である。今後「協働のまちづくり」では全市民を対象としている。町内会加

員が合同で練習できる合同部活動方式、ある中学校を拠点校として自校に希望する部活がない場合は拠点校へ行く拠点方式が、あるが今後の方針は。

【答】小規模学校では、連携して部活動を行っているが、これからも学校が主体となつて地域の実態に応じた部活動のあり方を模索していく。

#### 中学校の部活動について

【問】部活動が新中学校学習指導要領で学校教育の一環として位置づけられたが、どのように取り組んでいるのか。

【答】部活動は教育の一環として大切な活動であり、学校長の教育理念のもと、学校が主体となり地域と各種団体と連携して運営を進めていく。

#### 生徒の減少と部活動二歩

【問】生徒の減少と部活動二歩に対応するため、複数の学校の部

【問】部活動への補助金について、部員数が1人でも89人でも同額なのは、市補助金交付規則の公正かつ効率的に則っているのか。

【答】部活動に必要な登録料や消耗品やコーチ報酬に助成している。

